

# 川 根 本 町

2025年5月号

# 図 書 室 だ よ り

# 5月

- ・文化会館図書室(小長井)
  - ・山村開発センター図書室(上長尾)
  - ・移動図書館車やまびこ号:川根本町内6コース
- TEL:0547-59-3106(文化会館)  
TEL:0547-56-2231(山村開発センター)

- ☆ 開室時間:午前9時～午後5時
- ☆ 休室日:月曜日・第3日曜日(18日)・祝日の翌日(7日)
- ☆ やまびこ号巡回6コース



かわねフォン、町のホームページでご確認いただけます。  
なお、年間予定表は図書室で配布しています。



川根本町  
インターネット  
図書室  
ホームページ



図書だより  
ダウンロード

## 新着 図書



「川根本町インターネット図書室」では  
新刊の詳しい情報や 蔵書の検索が可能です。

人生をゲームだと思って、  
面倒をやり過ごす...



文

ヨシタケシンスケ 著  
KADOKAWA

多読より一冊の師匠  
本との出会いが大切



文

あつみゆりか 著  
PHP研究所

「習慣化」するコツ!



山

吉井雅之 監修  
ホームライフ取材班 編  
青春出版社

老化研究の最前線



山

米井嘉一 著  
池田書店

## 雑誌

NEW



天然生活 山

「手を動かしながら  
生活をつくり、  
暮らしを育むこと。」を  
コンセプトに、  
丁寧にシンプルな暮らしを  
提案する。

NEW

MONOQLO  
(モノクロ) 山



「失敗しないお買  
い物体験」を応援  
するため、「ありと  
あらゆる世の中の  
モノの良し悪しを  
本音でジャッジす  
る。」

継続

- ・オレンジページ
- ・NHK きょうの健康
- ・ハルメク
- ・趣味の園芸
- ・NHK きょうの料理
- ・LEE
- ・旅行読売
- ・クロワッサン
- ・現代農業
- ・レタスクラブ

※所蔵状況 文 文化会館図書室 山 山村開発センター図書室

## ◎ 新着図書

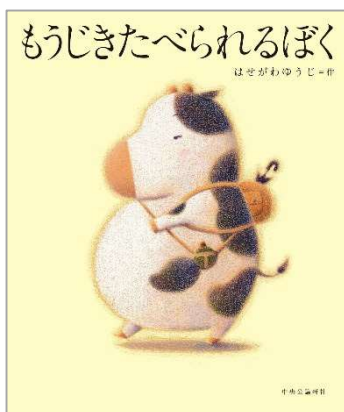
「川根本町インターネット図書室」では新刊の詳しい情報や蔵書の検索が可能です。

文化会館図書室所蔵	山村開発センター図書室所蔵
<p>● 『ゲートはすべてを言った』 鈴木結生 著 朝日新聞出版</p> <p>高名なゲート学者・博把統一は一家団欒のディナーで、彼の知らないゲートの名言と出会う。ティー・バッグのタグに書かれたその言葉を求める旅の先に、行き着いた場所は……。若き才能が描く、アカデミック冒険譚！第172回芥川賞受賞作</p>	<p>● 『月収』 原田ひ香 著 中央公論新社</p> <p>それぞれの月収に見合う生活を送る6人。欲しいもの、不要なもの、そして、お金では買えないもの……。お金をテーマにした人間ドラマ。</p>
<p>● 『日ノ出家のやおよろず』 安堂祐介 著 中央公論新社</p> <p>日ノ出楽志は一児の父になったが、家事も仕事も上手くできない不器用な男。唯一の取り柄はモノを大切にすることで、人よりもずっと長く使うことができること。楽志は知らなかった。彼が名前をつけたモノには、心が宿っていることを……。</p>	<p>● 『猫の刻参り 三島屋変調百物語拾之続』 宮部みゆき 著 新潮社</p> <p>江戸は神田三島町にある三島屋の次男坊富次郎は、変わり百物語の二代目聞き手。数奇な身の上話を聞き捨て、一話ごとに墨絵にしている。一方、兄・伊一郎の秘密の恋人が出奔。伊一郎の縁談を巡って、三島屋は大騒動に巻き込まれてしまう……。</p>
<p>● 『俺が恋した千年少女』 斉藤詠一 著 双葉社</p> <p>かつて赤鬼として暴れまわった元不良のサラリーマン・錠一郎。25年ぶりに再会した初恋相手の弥生は、高校時代と変わらずに若くてかわいいままだった。洪水で死んだはずの弥生はなぜ生きているのか？ 一体何者なのか？ 弥生を追う男達の正体は何者か？</p>	<p>● 『星の教室』 高田郁 著 角川春樹事務所</p> <p>さやかは、中学の卒業証書を受け取っていない。義務教育さえまともに終えていないという枷が、さやかを生き辛くさせていた。しかし、ある日、さやかは夜間中学という存在を知り入学。仲間たちに支えられて過ごす日々が、学校や親への不信で雁字搦めだったさよかの心を解きほぐしていく。やがて、さやかには密かに叶えたい、という夢が芽生え始めるのだが……。</p>
<p>● 『やくそくぼくらはぜったい戦争しない』 那須正幹 さく ポプラ社</p> <p>3歳のときに広島で被爆し、生涯をかけて平和を訴え続けた児童文学作家・那須正幹が遺した物語。</p>	<p>● 『初瀬屋の客 狸穴屋お始末日記』 西條奈加 著 文藝春秋</p> <p>浮気を繰り返すダメ亭主との離縁を果たした絵乃。今度は離縁調停人としてさまざまな難題に立ち向かう。</p>



## おすすめ図書

『もうじきたべられるぼく』 はせがわゆうじ 作 中央公論新社



### 「命と食」について考える

「ぼくはうしだから もうじきたべられる」  
旅に出て今までのことを思い出してみよう…。  
最後に、ひと目だけおかあさんに会いにいこう…。  
ラストページには、運命をうけいれたメッセージが綴られていて、  
何度でも読み返してしまう言葉と、やさしい絵に心を動かされます。

忘れていませんか？生物の「いのち」を自分の命に代えていることや、「いのち」をいただいていることへの感謝を。  
このことを、この絵本が改めて強く感じさせてくれます。  
ストレートに現実を受け入れつつ、読んだ人がこの絵本をきっかけに「命と食」について考えたり、これから成長していく子どもたちのための食育の絵本としても役立てばいいなと思います。こどもから大人の方までにおすすめしたい、胸が熱くなる1冊です。  
図書館スタッフ N

移動図書館車やまびこ号所蔵